

Akitakata / Renovation

AKITAKATURNS FILE.

安芸高田 / リノベーション

新古
しい家
の暮ら
し



この場所に、家を建てた職人たちがいる。

この場所で、幸せな時を過ごした人たちがいる。

使って、直して、手入れを続けた軌跡がある。

古くなるということは

新しいものの積み重ねであるということ。

この家が古くなっていく軌跡に

自分の暮らしが刻まれたならどうだろう。

あなたと、あなたの大切な人の生きるよろこびを

どんな家で感じたいですか。

発行

安芸高田市企画部政策企画課
〒731-0592 広島県安芸高田市吉田町吉田791番地
TEL | 0826-42-5612 / FAX | 0826-42-4376
HP | <http://www.akitakata.jp>
E-Mail | seisakukikaku@city.akitakata.jp

編集・制作

合同会社アキタカーターズ

2022年3月発行

古い家の 新しい暮らし

AKITAKATURNS FILE.

着るもの、食べもの、暮らすところ。

生きるため 最低限必要なものって
だいたいこのくらい。

着るものは個性を映すおまじない。
自分らしくいられるものを纏おう。

食べるものは体をつくる源。
健やかな日々のために、おいしいものを頂こう。

では、暮らすところは。

足の裏で触れる床板、廊下を抜ける風、
窓から見える景色…

私たちはみんな、今、最も新しい時間を生きている。
新鮮な時間を生きるよろこびで
心と体を満たしてくれる家を選ぼう。

一度しかない人生。
私たちには、暮らす場所を選ぶ自由がある。
“新しい”家を建てるも自由。
そして、“古い”家に住むも自由だ。

物語の舞台は、広島県・安芸高田市。
“古い家”に手を入れて、自分好みの
“新しい暮らし”をしている人たちを訪ねました。





AKITAKATURNS
FILE.

01



c.		
d.	b.	a.

a./ゲストも家族も集まってくるキッチン。壁は廃材を使ってアレンジ。b./大工さんをお願いしてつくってもらった丸窓。
c./薪ストーブのある土間は夏涼しくて冬あたたかい。d./ゲストがくつろげる寝室とリビング。



name.

栗栖 伸明 さん
真理子 さん

data.

- 施工期間：約1年半
- 経費：約500万円+薪ストーブ
- 築年数：約100年

この家は、「もう住む人はいないから取り壊そう
と思ってる」と紹介された物件でした。訪れてみ
ると、車通りのある大きな道路から少し離れている
ので静かだし、周りより一段高い位置から、田畑と
山を眺められるので景色もいい。床も朽ちて、壁も
崩れて、いわゆる「ボロボロ」の状態だったのですが、
改修すればうまく使えそうだなと思って、購入を
決めました。

改修を始めるにあたって、近くのアパートを借り
ました。夫が一人で通って、使えそうにない部分を
壊すところから始めたんです。前に自分の店の内
装をいじった経験があったので、やり方は想像でき
る。あとは作業をしながら考えればいかなと。思
い切って壁を抜いて、壊れている部分は取り払って
；でも途中で気づいたんです。一人じゃ無理だ、大
工さんが必要だって(笑)。すぐに近所の大工さんに
相談して来てもらいました。

まずは壊してみる、というスタートは、結果的にア
イデアが広がって良かったです。もともと玄関と洋
室だったところは、靴を履いたままでもくつろげる
ように、コンクリートを打って土間に。出窓のあった
スペースを利用して薪ストーブとテーブルも置きま
した。それから、土間からの眺めにもこだわりました。
一段上がって和室があって、奥に丸い窓から光が
差すといいじゃないですか。

「これは譲れない！」と決めていたのは、アイラン
ドキッチンです。この家では、お客さんと一緒に過
ごすシェア型の宿を営んでいます。畑でとれた野菜
を使って、お客さんと料理をつくらしたり、話をしなが
ら食事を囲んだりしたくて。そのために、壁側のコ
ンロや作業台の配置を考えて、窓の大きさや換気
扇の位置も変えました。目に入る側面のタイルの
柄は、自分達で探し出してきたお気に入りです。電
気の配線を考えるのも重要ですね。土壁には線が
通せないで、壁をつくって隠しました。

細かいところまでこだわることができたのは、一
緒に話し合っ進めていける大工さんがいてくれた
からです。当初の計画と全然違う結果になりました
が、後悔はありません。一度で全部をやるうとせ
ず、色んな知恵のある人に関わってもらって、アイデ
アを出し合うとうまくいくんだなとわかりました。
今後は、土間にタイルを貼ってホテルのロビーのよう
にしたり、窓を木枠のものに変えたりしたいと思っ
ています。壊れていても手を加えて直せば、意外と
楽しめるものですね。

所有
物件

AKITAKATURNS FILE. 01

取り壊し予定の家をリノベーション
ゲストと一緒に食卓を囲む シェア型の宿に



改修前は見えなかった窓。真ん中に木がはめてあるのも、また味。



冬、薪ストーブをつけておくと、次の日の朝まであたたかい。



「こんな家がいい」と、さやかさんが描いたスケッチ。イメージ通りの仕上がりに。

所有物件
TYPE

AKITAKATURNS FILE. 02

画用紙に描いた通りのリビングに ここから、人の交わる新しい“青”をつくらう

ここは、子どもの頃から大好きで毎月のように遊びに来ていたおじいちゃんの家です。今でも野球のボールで割ってしまった窓ガラスが残っています。妻と二人で引っ越してきたのは5年前。当時、妻が「こんな部屋がいいな」と描いた絵は、天井を抜き、堂々とした黒の梁と柱を眺められるリビングでした。この絵を実現したい！それが改修を決めた理由です。

改修前、天井は冷蔵庫くらいの高さしかなく、床は壊れていました。手伝いに来てくれた友達と一緒に天井を抜くと、とても広くて、寒いかな…と躊躇しましたが、やはり見た目に勝るものなし！思い切って梁を露出させました。冬は、薪ストーブをたくと翌日までじんわりあたたまり、思ったよりも快適に過ごしています。床は無垢の材に、節目があるため比較的安い材ですが、模様も楽しめて気に入っています。

古い家ほど楽しみがありますね。その一つが、「あるものを使う」という工夫です。例えば、大きな合わない建具がはめてあった壁と壁の間には、今回の改修で出た廃材を使って、小窓をつくりました。裏庭の様

子が見えて明かりも入ります。キッチン周りもカウンターも廃材を利用してあります。新しすぎず、自然と部屋に馴染む雰囲気がいーんです（笑）。改修の過程で今では手に入りにくい栗のような良い木材も見つけたので、これから別の場所を直す時に活用しようと企んでいます。

作業を進めると、予期していなかった「これどうする？」という部分が必要出てきます。小さな隙間とか。そんな時に、自分達の好みをくみ取って、知恵を貸してくれる大工さんがいてくれたので心強かったですね。

ここは、自宅でありながら、ゲストハウス「アオノイエ」としても活用しています。アオは集落の名前「青」。ノイエはドイツ語で「新しい」という意味。人が交流し、地域の入り口となるような「新しい青をつくらう」という想いを込めています。実際にうちで宿泊体験をした人が安芸高田市で空き家を購入したこともあります。古い家でも、充分心地よく暮らせる、そして自分の思い描いている暮らしが実現できるということを、これからもこの家を訪れる人に伝えられたら嬉しいですね。

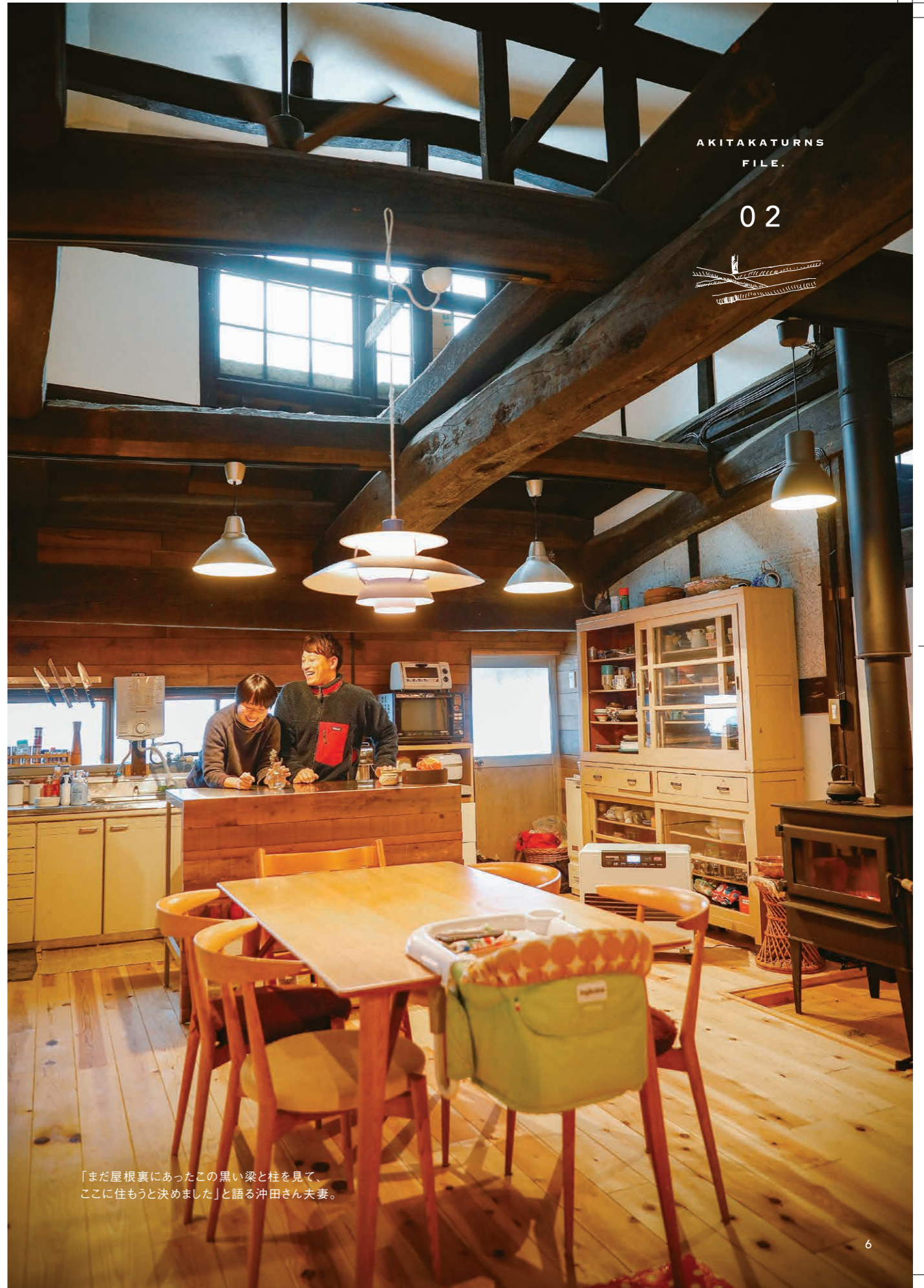


name.

沖田 政幸 さん
さやか さん

data.

- 施工期間：約2週間(キッチン・ダイニング・リビングルームのみ)
- 経費：工事費120万円+薪ストーブ
- 築年数：約130年



AKITAKATURNS
FILE.

02

「まだ屋根裏にあったこの黒い梁と柱を見て、ここに住もうと決めました」と語る沖田さん夫妻。



AKITAKATURNS FILE.

03

b.	
d.	c. a.

a./地域の人の集まる納屋。過ごしやすいようまだまだ改修を続けている。b./この薪ストーブに出会うまで、いくつものメーカーを巡った。c./外観はそのまま。山から切り出してくる薪も丁寧に、丁寧に積む。d./土とレンガで手作りのピザ窯。



name.

水戸 芳郎 さん
典子 さん

data.

- 施工期間：約1年
+住みながら継続中
- 経費：50万円(材料費のみ)
+薪ストーブ
- 築年数：約60年

間です。それから、台所の奥にパントリーをつくり、リビングに薪ストーブをつけました。

納屋も活用しています。壊れていた床は、釘で止まっていた板を裏返して張り替える。足りないところは古材で補っています。大きな机は、ミーティングやイベントができるように。外のピザ窯も手作りで、火を使うと人が集まってきましたね。物を置くだけのところだったスペースが、人が交流できる場所に生まれ変わって嬉しいです。

冬になると、朝、1時間早く起きて薪ストーブに火をいれ、部屋をあたためます。使う薪は、裏山から切り出してきたもの。家だけでなく、山の手入れもするのは、今の自分のためではありません。将来、子どもや孫たちに帰って来てもらえるような環境を残したいからです。パッと見て「きれいだな」「住みたいな」と思ってもらえるように。近くの親戚の家の改修も始めました。地道にコツコツと、この地域を美しく残していきたいです。

所有物件

AKITAKATURNS FILE.

03

家や山に手を入れるのは、子ども達が、戻りたくなるふるさつをつくるため

7年前、定年をひかえた頃に、この先をどう生きようかなあと考えたんです。それまでは家も職場も街中で、田舎暮らしとはかけ離れていました。60歳で仕事をやめても、健康に生きられるのはもうあと10年くらいかもしれない。再雇用でもう5年働くのは時間をもったいない。思い切って、中学生まで過ごしたこの実家に戻ることに決めました。

それから退職までの間、平日は仕事をし、週末はここに通いました。今まで草刈りを手伝ったこともなかったのに、機械の使い方を教えてもらって家の周りをきれいにして。長く暮らすなら、家も居心地をよくしたい。そう思って、建築の仕事をしていた経験を生かして図面を書くことから始めました。

古い家の雰囲気って、いいですよ。外観はできるだけ変えたくなかったんで、その分内側で遊び心を発揮しました。材料にお金をかければ何でもできるけど、それではおもしろくない。ちょうど納屋に父が残っていた板や材があったので、切ったり削ったりしながら工夫して使いました。これがとてもおもしろかったですね。

全て一度に変えることはできないので、改修は少しずつ進めました。まず手をつけたのは、寝室です。引越したら、自分たちが住む部屋が必要だと思いい、土間と洋室だったところを利用して、小さな部屋をつくりました。床の高さをそろえて板を張り、本や小物の置ける棚も構えました。木のあたたかみに囲まれて、ゆっくりと過ごせる落ち着いた空間です。



b.	
d.	a.

a./白や木の色を活かした、落ち着けるキッチンダイニング。b./牛小屋だった納屋は改装して加工場に。生活スペースと別にあるのが便利。
c./インテリアの中心となったソファーと足場板を使った本棚。d./子ども部屋。あるものの上に貼ったり塗ったりしてアレンジ。



name.

菊井 博史 さん
美奈 さん

data.

- 施工期間 : 5~6年
- 経費 : 約400万円
- 築年数 : 約50年

この家はもともと親戚の家で、たまに窓を開けに
来たり、泊まったりと出入りがあったんです。子ど
もが小学校にあがるタイミングで移り住もうと決
めて、長い期間をかけて準備することになりました。
部屋づくりの中心になったのは、ソファーでした。
ずっと欲しかったものを買って、「このソファーに合
う部屋はどんなだろう？」とイメージを膨らませま
した。参考にしたのは、本や雑誌、Pinterestなど
のSNSの写真。その中から気に入ったものをスク
ラップしておきました。大工さんと相談するときに
も、そのスクラップを見せて「こんな雰囲気がいい」
と伝えられたので、完成イメージを共有しやすかつ
たですね。
「そんなところ気にする？」ってところまでこだわ
りました(笑)。シンクや水栓は県外の家具店まで
実物を見に行つて決めましたし、床や壁の材質、タ
イルの目地に至るまで、自分達の好みのものを探し
まわりました。部屋の雰囲気を決める照明器具も、
それはもう、自分でもあきれれるほど調べましたね。
施工支給といって、資材や設備などを自分達が用
意して、取り付けを大工さんをお願いした部分も多
いです。イヤな顔ひとつせずに施工してくれて、本
当に感謝しています。
リビングの本棚は、足場板を使っています。板の
幅はそのままに、部屋と部屋の間のあまった隙間に
合わせて長さを変えるだけ。家具を置くよりも、部
屋にびったりとおさまるのでいいですよ。「ミをでき
るだけ出さないための工夫もしました。例えば、フ
ロリングの張り替えも、もとの床の上に新しい無
垢の板を張りました。費用の削減にもなります。
自分達でできるところは自分達で。壁や扉の色
を変えるのは簡単です。塗料を買ってきて塗るだ
け。自分で調べてクロスも貼りました。子ども部屋
の壁や扉は、壊したりはがしたりせずに、色だけ変
えました。床もタイルカーペットを敷いているだけ。
汚れてもすぐ替えられるので安心です。大がかりに
改修しなくても、ちょっぴり手を加えるだけで、か
わいらしい空間にすることができました。
友達を呼んでご飯を食べるのが好きなんです。み
んなで集まったとき、一緒に使える場所になればい
いなと思って、どこに何があるかすぐわかる収納に
したり、スペースを広くとるなどの工夫をしています。
家事も、ひとりでするんじゃないかと、みんなと楽
しくしたい。せつかく想いを込めて直した家なので、
これからもワイワイと楽しく使っていきたいです。

所有
物件

AKITAKATURNS FILE. 04

時間をかけてリノベーション
こだわりに溢れた我が家をつくるコツ



AKITAKATURNS
FILE.

06



TYPE
賃貸
物件

AKITAKATURNS FILE.

06

ペットと住みたい
広々軒家で夢の暮らし



name.

福田 菜摘 さん
嵐森 信吾 さん

大家さんの声

就職先が安芸高田市内に決まったことがきっかけで引っ越してきました。
この家に住み始めたのは、ペットが飼える物件だったから。近所に迷い猫がいるのを知り、保護したくて。猫と暮らせる家を探していたところ、この家を紹介してもらいました。
入居前、洗面台とお風呂、トイレを大家さんが直してくれました。洗濯機を置く場所もつくってもらって。水回りが整った状態で住み始められたので快適です。直してくれた大家さんにはとても感謝しています！
小さな一軒家ですが、二人で住むには十分な広さです。もともと客間だったところは、勉強部屋として使っています。漫画が大好きなので、大きな本棚を入れました。タンス等の家具は、入居時に残っていたものです。好きに使っていいよと言ってもらえて助かっています。
住みやすいですよ。古い家なので、すさまじい風があたりしますが、全然気にならないくらい、大満足です。ご近所さんにも、野菜を頂いたり、気にかけてもらっていますしね。
まさかペットと一緒に一軒家に住むことができるなんて。願ってもみなかったことが叶いました。じきにもう1匹、保護猫を受け入れる予定です。

人口の減っているこのまちに、若い人が越えてきてくれるのは嬉しいことです。水回りのリフォームは、引っ越し前が私が負担して行いました。せっかくなら住み続けてもらいたいですからね。慣れない土地ではわからないことも多いはず。これからも、何か困ったことがあったら、いつでも頼ってみたいです。



AKITAKATURNS
FILE.

05



TYPE
所有
物件

AKITAKATURNS FILE.

05

まずは賃貸の一軒家に住みながら、
家をまるごとリノベーション



name.

伴井 護 さん
友里絵 さん

大工さんの声

大阪に住んでいる時、無農薬のお米が食べたいと思って取り寄せたら、それが安芸高田のお店からの発送でした。そのご縁を頼りに、ここへ。「赤い屋根の小さな家に住みたい」と空き家バンクを探して今の家に辿り着きました。
せっかく住むなら自分でリノベーションしてみたい。でも、はじめは到底住める家じゃなくて。なので、近くの「一軒家に住み始めることになりました。改修しながら住むのではなく、まずは賃貸に住み、仕事や生活に慣れながら、徐々に家の準備をして。無理のないスタートを切ることができましたね。
自分で直すのって、おもしろいです。技術も身に付き、「ま、このくらいいいかー」という調整にも自分らしさが見えてきます。壁や床、小上がりも自分で直しましたが、お気に入り、最近つくった囲炉裏ですね。地元の鉄工所の方をお願いして枠だけ設えてもらい、余っていた木材を使って完成させました。火を家の中で見られるって、いいですよ。囲んで朝ごはんを食べたりしています。
家はだいたい整ってきたので、次にチャレンジしたいのは畑づくりです。工夫しながら、自分で何かを創り出すスキルを身に付けながら暮らしていきたいと思っています。

若い人が他所から引っ越してきて家を直すという依頼は珍しいことでした。自分で直したいと聞き、専門的なアドバイスと技術の必要な作業をお手伝いしました。古い家は、作業を進めるうちに直す箇所が増えることがあります。予算を決めておくお互いに安心です。でも何より、気に入った家に住むのが一番です。その後、手を加えればいいですからね。

空き家 *Let's check!!* チェックリスト

- ハザードマップの確認
 - 学校、病院、商店との距離
 - 固定資産税の額 [購入の場合]
 - 床 [フカフカしたところがないか?]
 - 雨漏り [天井のシミをチェック]
 - 農地付き物件は
農業委員会の許可が必要
 - 水道
 - 上水-水道水・井戸水・山水
 - 下水-下水道・浄化槽・汲み取り
- 事前に確認しましょう
- 近隣との付き合いは…
 - 雪の具合 [雪掻き/除雪]



古い家との 出会い方 Q&A

Q. どうやって探しましたか？

- A1. 親類縁者の家だった。
- A2. 不動産で教えてもらった。
- A3. 仲良くなった地元の方の紹介。
- A4. 空き家バンクで見つけた。

安芸高田の 空き家バンク



年間約50件ほど
成約のある
空き家バンク。
毎月更新されています。



各種補助金・
助成の情報は
住宅政策課へ

安芸高田って *About Akitakata* どんなところ？

安芸高田市は、北は島根県、南は広島市に接し、
広島県北部のちょうど真ん中に位置しています。
市域面積の約8割を森林が占め、
緑豊かな景観が広がります。
大小さまざまな山に囲まれた
盆地型気候が特徴で、
朝には寒暖差によって起こる霧が
美しい表情を見せてくれます。



data 1
毛戦
利国
元武
就將
の本
拠地



郡山城は
日本百名城にも
選ばれています。

data 2
神楽
が盛
んで
す

市内に
22の
神楽団
その他、
花田権え・
お祭りなど
伝統文化が
色濃く
残っています。

data 3
「サンフレッチェ広島」の
マザータウンです。

練習場は吉田サッカー公園です。



TIPS!!

古い家との
お付き合い

雑記帳

in
安芸高田

頼りになる地元の業者 *Let's contact!!*

工事するなら近所の業者さんも検討してみても…。
できれば工事に立ち会うのがオススメです。
地域のいろんな話が聞けるし、簡単な作業ならやり方を教えてくれて、
実際やらせてくれることも…。つながりができれば、万一のトラブルの時も
親身になって相談に乗ってくれます。
たとえば水道工事を頼んだ設備屋さん。
冬に水道管が破裂したときにはすぐ来てくれたりします。
地元の商工会やご近所さんに紹介してもらいましょう。



Let's DIY!! DIYもオススメです

- メリット
- なにしる作業自体が楽しい♪
 - 技術と知識が上がる
 - お金は安く済むかも
 - 自分の手で自分の暮らしの場を作る喜び



- デメリット
- 構造的にやっていいかどうか、判断できない
 - だんだん上手くなるので最初手がけたものが気になる
 - 工具を揃えるのにお金がかかる
- DIYの先輩と仲良くなれば借りれるかも…

プロに相談しよう!

